



三条北ロータリークラブ週報

2013-2014年度

国際ロータリー会長：ロン D. パートン「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

第2560地区ガバナー：山崎堅輔 「進めよう！職業奉仕の洗練化を！」

「備えよう！大震災の心構えを！」

三条北ロータリークラブテーマ「楽しくなければ ロータリーではない」

会長：丸山 勝

幹事：岡田 健

SAA：石黒 隆夫

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP : <http://www.sanjo-nrc.org>

AD : north@sanjo-nrc.org

本日の行事：卓話

「特発性正常圧水頭症について

----そして老いを考える----

- ◆本日の出席：70名中39名
- ◆先々週の出席率：70名中56名 80.0%
(前年同期 79.71%)

- ◆本日のビジター：
 - 三条RCより 小出子恵出さん
 - 三条東RCより 田村 松英さん

- ◆先週のメイクアップ：(敬称略)
 - 11月14日三条東RCへ 石黒 隆
 - 16日地区大会・職業奉仕セミナー
 - 中條耕二、丸山 勝
 - 岡田 健、西村 護
 - 17日地区大会 中條耕二
 - 丸山 勝、岡田 健、西村 護
 - 落合益夫、石川一昭、石黒隆夫
 - 大野新吉、小林繁男、斎藤 正
 - 佐藤義英、下村啓治、武田恒夫
 - 外山晴一、馬場直次郎
 - 早川瀧雄、坂内康男、瀧岡 茂
 - 丸山達夫、森 宏、山中 正



会長挨拶：丸山 勝会長



11月16日・17日の地区大会参加会員の皆様、出席ありがとうございました。2会場(胎内パークホテル、中条グランド H)ライブ中継といかがでしたか。クラレ相談役 和久井氏の講演

は我々経営者にとっては参考になる話もあったのではないですかね。

また、当クラブは米山奨学とロータリー財団の寄付でガバナー賞をもらいました。そして長寿会員で樋口金占さんと山上茂夫さんがガバナー賞を頂いたことはすばらしいことです。会員の皆様、だんだん寒くなってきました。健康には注意をしてください。

・地区大会に於いて表彰されました

ガバナー賞 米山記念奨学会寄付クラブ
ロータリー財団寄付クラブ
長寿ロータリアン表彰 樋口金占会員
同上 山上茂夫会員



幹事報告：岡田 健幹事



- ・山崎ガバナーより 地区大会協力のお礼
- ・鈴木直前ガバナーより 鈴木年度の記録として「輝け！ROTARY」刊行について
- ・三条ローターアクトクラブより 車椅子清掃開催のご案内
12月8日(日)9:00～12:00 於く三之町病院 是非ご参加頂きご協力下さい。
12月例会のご案内 12月5日(木)・19日(木) 19:30～
会場：三条燕地域リサーチコア

- ・大島中学校杉山校長より 寺子屋授業のご案内 (パンフレット配布)
日時 11月25日(月)13:30～15:10 会場 大島中学校 体育館
講師 脳科学者 茂木健一郎氏



三条東RC田村社会奉仕委員長より

今年度社会奉仕事業のご案内とお願いに伺いました。
毎年自殺予防「命の大切さ」をテーマに事業を行っています。
12月1日(日)13:30～中央公民館で落語家樋口強さんの落語講演会を開催します。多数のご出席をお願いします。



◆ロータリー財団BOX：19日現在累計317,000円

- 田村 松英君 (三条東RC) 本日は宜しくお願ひ申し上げます。
森 宏君 本日卓話 お話させていただきます。
中條 耕二君 森先生の卓話に感謝して。今月は財団月間です。フィリピンのレイテ島の大惨事、もし日本で起きたら。
佐藤 弘志君 森先生の卓話楽しみにしておりました。小出さん、田村さんようこそいらっしゃいました。
佐藤 秀一君 米山さんに協力させていただきます。
外山 晴一君 米山さんに協力して
樋口 金占君 協力です
大橋 政雄君 〃
米山 忠俊君 11月も中旬が過ぎ寒さも増してきました。日も短く秋も深くなりましたが、この時期を楽しく過ごしたいと思ひます。



◆米山奨学BOX：19日現在累計316,000円

- 森 宏君 地区大会に参加し奨学金の重要性を再認識しました。
石丸 進君 三条ロータリーの小出さん、本日はようこそ北ロータリーへおいで下さいました。ありがとうございます
落合 益夫君 米山奨学に協力。
樋口 金占君 〃
山崎 勲君 〃
平出富士夫君 〃

◆ニコニコBOX：19日現在累計387,000円

- 小出子恵出君 (三条RC) 市内の街路樹の紅葉も散り始めました。下田八木奥はすでに一回白くなり寂しくなる季節です。三条北RCの皆様にはお世話になっています。出席数を補うためにお邪魔いたしました。
岡田 健君 先日、丸山会長がポツリと言われました。「夜、暗い部屋に帰ると心が寒いよ」と私の心に深くしみました。一日も早く明るい丸山会長に戻られることを待つて居ります。

石川 勝行君 森先生、本日の卓話楽しみです。宜しくお願い申し上げます。
 森 宏君 1/1/16に初孫が生まれました。
 吉田 文彦君 森先生、卓話ありがとうございます。先生のお話をお聞きし私も「老い」を考えます。
 柄沢 憲司君 森先生の卓話楽しみにしていました。
 石黒 隆夫君 地区大会ではカメラと名札をわすれてしまい大変申し訳ございませんでした。遅刻者もなく帰り車中、失禁しそうな人はいましたが、騒いで他団体に迷惑をかけることなく無事帰ってこられました。ご協力ありがとうございました。
 佐藤 義英君 森先生の卓話に感謝して!!
 石川 一昭君 地区大会の参加の皆様ご苦労様でした。特に丸山会長、岡田幹事、西村職業奉仕委員長中條大先輩は前日からの出席大変ご苦労様でした。
 斎藤 正君 森先生の卓話 興味深いものがあります。楽しみにしています。
 渡辺 徹君 協力します。
 丸山 勝君 BOXに協力
 丸山 達夫君 //
 樋口 金占君 //
 浅間 一洋君 //
 笹原 壯玄君 森先生の卓話に期待して。是非眠るが如く極楽に！



本日の行事：卓話 「特発性正常圧水頭症—そして老いを考える—」 森 宏 会員



特発性というのは原因がよく分からないということです。

去年の2月にNHKのためにガッテンで「笑顔が戻った認知症治るタイプ大発見」というタイトルで放送されました。性格には治ると言うことではなく改善が期待できるという疾患です。

脳外科医が携わって認知症状の改善が得られる疾患が2つあります。一つはこれからお話しする正常圧水頭症。もう一つは慢性硬膜化血腫、これも高齢の方に非常に多く、一寸頭を打って、そのときは異常がないのに後日、血がたまって来る。これは手術すると非常に治りの早い疾患です。

特発性正常圧水頭症とは『くも膜下出血、髄膜炎などの先行疾患がなく、歩行障害を主体として認知障害、排尿障害をきたす、脳脊髄液吸収障害に起因した病態』『高齢者に多くみられ、緩徐に進行する』

『適切なシャント術によって症状の改善を得る可能性がある症候群』

『**症状が高齢者に非特異的であるため、診断が必ずしも容易ではなく、見過ごされる例も多いと考えられる**』

発生頻度：正確なところは不明

症状の特徴

歩行障害の症状
 歩幅の減少（小刻み）
 歩隔の拡大（broad-based）
 足の挙上低下（すり足）
 ゆっくりで不安定→転倒
 特に起立時・方向転換時に不安定
 外的キューでの改善効果なし（パーキンソン病との違い）
 認知症の症状
 集中力、意欲・自発性が低下・注意機能障害
 前頭葉機能関連障害
 記憶障害
 尿失禁の症状
 頻尿（トイレが非常に近くなります）
 尿意切迫（我慢できる時間が非常に短くなります）
 尿失禁
 特発性正常圧水頭症は的確に診断できれば髄液シャント術（髄液の循環障害を取り除く）によって症状の改善を得ることができます。
 特発性正常圧水頭症は老人病：60才以上“人生50年”と言われていた時代には存在しなかった（1965年に初めて提唱された概念）

日本人の平均寿命	男	女
昭和22年	50.06	53.96
昭和40年(1965)	67.74	72.92

もし、我々の平均寿命が50才だったら→ロータリークラブは成り立たない！
 特発性正常圧水頭症は存在しない

認知症の患者さんもほとんどいない
白内障の患者さんもほとんどいない
脊柱管狭窄症の患者さんもほとんどいない
変形性膝関節症の患者さんもほとんどいない
etc

私たちは、寿命が延びたことで、
本当にハッピーなのでしょうか？
人間の体のパーツの寿命（賞味期限）はそもそも50年位なのではないのでしょうか？
医学が進歩する → 寿命が延びる →
少子高齢化が進む → 医療費がかかる
エネルギー、食料が不足 → 地球は温暖化する
私は医学が進歩する事が地球環境にとって本当

にいいことなのかと考えています。目の前の患者さんは助けなければならないし、助けていますが、グローバルに言いますと長く生きることがあります。

3日前に初孫が生まれましたが、こうした少子高齢化の中で子宝に恵まれるということは有り難いことだと思っています。高齢者疾患を対象にした仕事をしていますが実は小児脳外科という分野をやっていました。新潟県には子供病院がないので是非子供病院を作りたいと思っています。ご静聴ありがとうございました。

暫く例会をお休みされていましたが山上会員より、寄稿して頂きましたので、掲載させていただきます。1日も早く回復されて例会に出席頂ける事を願っております。

雑感「ロータリーへの思い」

山上 茂夫

私は北クラブのチャーターメンバーとして初めてロータリーと接点を持った。54歳の時である。

私は山口県下関市で小学校4年生から軍国少年として純粋教育を受け、精神的、肉体的にも鍛えられて来ましたが、原爆投下後終戦となり廃墟の広島を経由し8月末に三条市民となった。満13歳の時である。山口県は勤皇精神が強く官民一体の革命により、明治政府を打ち建てた歴史的背景がある。その上ペリーが浦賀に来た頃の早い時代に関門海峡に航行した米英連合軍との戦いもあり海外雄飛の精神も旺盛だった。

あえて言えば農を基本とした新潟とは県民性が異なっていた。戦後は日本国民は一体となり幾多の苦労を重ねながら、平和を、そして物的豊かさを手にしてきた。

私が入会した時は漸く心と生活にゆとりを感じた頃で、歩んできた過去を振り返って「微力でも自分に何かできる事はないか？」と思いメンバーに加えてもらった。

入会して感じた事は「皆さんお金持ちの上に、尊敬に値する方々許りに」思えました。それに反し私の過去は人間的な生き方を選択させない教育が日常でしたので私の欠落している部分を早く回復させ、よきお年寄りになれる様にと望んでみました。

RCは幸い他のクラブへの出席は自由です。私にはこれは大変好都合でした。異なった地域の卓話は、多種多様なお話が聞け、質の違った内容は大変勉強になりました。自分に足りない物を急速に埋めてくれる様な快いひとときでもありました。そして気力、体力、智力もフル廻転で充実したロータリーライフを実感して居ました。

最近ロータリーを修行の場とか、人間形成の場とか、心を癒やす場と捉える人が少なくなった様な気がしています。

時代、政治、経済、教育が変わり、考え方が変わり、今年は極端に気候も変わり、時代を生きる為、流れに沿ってという考え方に抵抗を感じています。

※他クラブの卓話を沢山聞く事が幅広い見識となり、自分の目と心を開かせる基でしょう。